

令和4年度第3回よこはま夢ファンド登録団体助成事業

# 10代の若者の “生き抜く力”を育むために

令和4年度『みらいteacher』(中学校での職業講話コーディネート)アンケート調査報告書

## ★はじめに

NPO法人アスリードは、令和元年の設立から3年、横浜市を中心に神奈川県内（川崎市・相模原市・藤沢市・横須賀市・座間市等 一部県外も含む）の中学校や高等学校等で実施される「職業講話※」などのキャリア教育プログラムを支援してまいりました。



※地域で働く社会人を学校に招き、「仕事」や「働く」、「人生」について学ぶ授業。  
学校や家庭といった自分のコンフォートゾーンの外にいる“第三の人”との偶発的な出逢いを通じて、自分のこれから先の将来を考えるきっかけを提供しています。

多くの学校からキャリア教育プログラムに関するSOSの声が届くようになり、関わっていただける社会人の方々（地域企業等）は増えつつあるものの、まだまだ一般の方々には、若者たちへの「キャリア教育支援」の必要性・重要性を十分に伝えきれていないと感じています。

その理由のひとつに、「キャリア教育支援」は直近の学力の向上や進学・就職することを目指すものではなく、この先ずっと続く「働いていくこと」や「生きていくこと」について時間をかけて考え、積み重ねていくことが肝要であるため、成果が見えにくく評価しにくい活動であることがあげられます。

そこで今回、横浜市の「よこはま夢ファンド（市民活動推進基金）」の助成を活用させていただき、「キャリア教育支援」がどれだけ10代の若者の“生き抜く力”を育むために必要なものであるかを見る化したいと考え、令和4年度に職業講話プログラム支援を実施した13校1,934名（横浜市内外含む）の中学生の声をまとめました。

是非、若者たちが感じている将来への“不安”や“想い”を多くの方々に知っていただき、アスリードが地域一丸となって取り組み続けている「キャリア教育支援」の必要性を実感していただければ幸いです。

アスリードでは次年度（令和5年度）以降、本アンケート調査の結果を事業に反映し、10代の若者と身近な地域企業で働く社会人（第三の人）がキャリア（生きる・働く）について共に考え、成長しあえる場を創り出す「キャリア共育」を展開してまいります。

「地域の力」を結集し「キャリア共育」を地域に根付かせ、これからも10代の若者の“生き抜く力”を育んでまいりますので、是非今後ともあたたかなご支援を、どうぞ宜しくお願い致します。

NPO法人アスリード 共同代表理事 武政祐 杉野瞳  
『みらいteacher』担当理事 小島子奈宣

## 来校体験型



コロナ禍となり、生徒たちが地域企業に訪問し仕事の体験を行う「職場体験」の実施が難しくなり、今年度は学校に社会人を招いて教室で行う「来校体験型職業講話」を数多くコーディネートしました。

各教室に分かれ、社会人から「生きること」・「働くこと」に関するお話(経験談)をしていただいた後に、その会社(社会人)の仕事を体験できるワークショップを取り入れるスタイルが定着してきました。

事前授業として、社会人のこれまでの経験をまとめた資料(ライフラインチャート・プロフィールシート)をもとに質問したいことを考えたり、今後の進路選択に備え生徒自身の価値観・興味関心・能力について考えるワーク(ジブン軸)を提案するなど、「仕事理解」だけでなく「自己理解」にもつながるよう、教育現場の要望に寄り添いながらプログラムを企画・開発しています。

### 【事例】

スタンダード: 中学2年生 295名 協力企業 12社 50分×2回(生徒入れ替え制)

スタンダード(ワーク): 中学1年生 150名 協力企業 5社 50分(事前ワーク『ジブン軸』)+50分×1回

授業時間…スタンダード:50分程度 ショート:30分程度 ロング:90分程度

## オンライン型



教室と地域企業をオンラインでつなぎ、社会人の仕事や働くやりがいについて学ぶプログラムです。生徒によるインタビュー形式での運営も可能で、オフィス(工場)内のリモート見学では教室にいながらにして社会人の働く現場の雰囲気も味わえます。

### 【事例】

中学2年生 85名 協力企業 6社  
 テレビモニター・PC 6台 Wi-Fiルーター  
 50分×2回(生徒入れ替え制)

## トークセッション型



体育館などで一堂に会し、社会人が壇上で自身のキャリアや進路選択に関する経験談を語ります。生徒の司会による運営や、実施校の先生にもご登壇いただくなど、双方のコミュニケーションができるよう工夫しながら運営しています。

### 【事例】

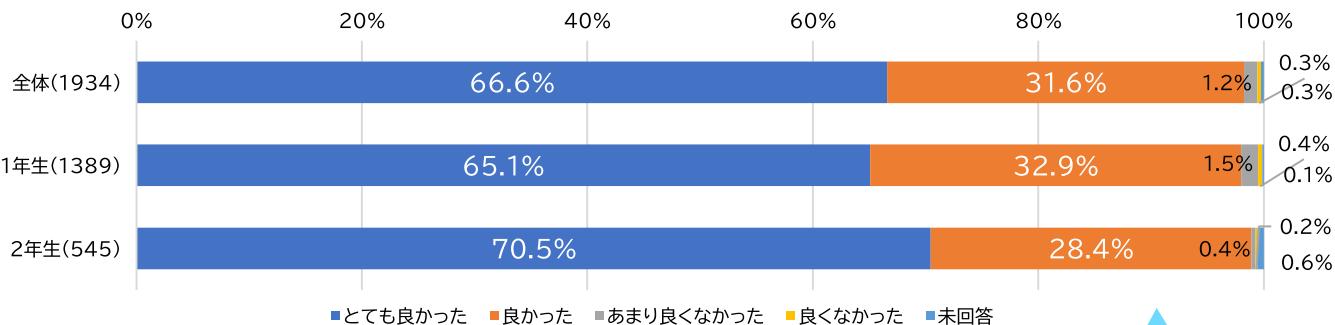
中学2年生 145名 協力企業 2社  
 50分(企業紹介2社)+50分(トークセッション)

※この他にも、学校の要望に合わせてプログラムをカスタマイズして企画・運営しています。

## 職業講話の「内容」はどうでしたか？

『みらいteacher』アンケート調査  
期間：令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）  
調査数：横浜市を含む神奈川県内外13校の中学校（1・2年生）1,934名  
方法：アンケート用紙またはWEBアンケートフォームにて回収

→生徒の約97%が、職業講話の内容に満足している。



### とても良かった/良かった

自分の体験談とあわせながら喋ってくれたので聞きやすかった。

自分が知らなかつことをたくさん知れたり、色々なことについての固定概念が変わったから。

このお仕事のやりがいや、なぜ続けられているのかなどのメリットや楽しいことを伝えてくれ、やりたいと思うことができたからです。

妄想や自分の世界を作り出せる自分にとっては最高の時間だった。

自分の知らない知識や体験をすることができたから。

自分が想像していた企業と違ってすごく楽しそうだなと思いました。それに日常でたくさん関わっていることがあったので興味深く話を聞くことができました。

普通じゃできないようなことを体験できて、何か分からぬことがあると親切に教えてくれたから。

どれも驚く話ばかりでクイズなどもあって、聞く人がとても楽しくなるようなものを用意してくれました。

普段気にしないところで色々使われていることを知って興味がわきました。そして実際に体験してみて、あんなに小さいパートから大きいパートまで扱っているんだとびっくりしました。

「仕事」の大切さ、前を向いて頑張る姿勢が大切なことを学ばせてもらった。

### あまり良くなかった/悪くなかった

実際に体験できたのは良かったが、自分の興味のある内容ではなかった。

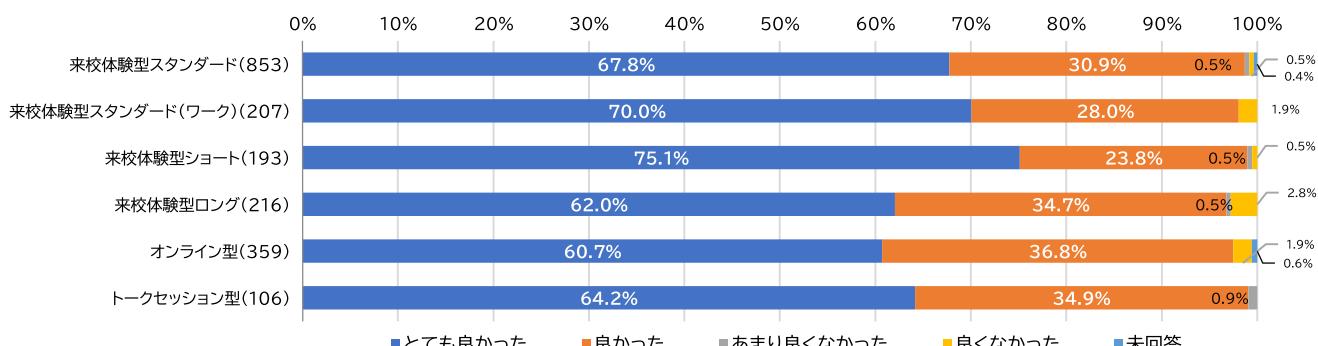
席が後ろで画面が見えないし、あまり聞こえなかった。



## 職業講話の「内容」はどうでしたか？（講話タイプごとの内訳）

→実際に手や体を動かして「仕事」の体験ができる来校体験型のなかでも、短期集中のショート型、講話に臨む動機づけや「自己理解」を促す事前授業を行うワーク型の満足度が高い結果となった。

オンライン型・トークセッション型は、「悪くなかった」とするコメントに環境（ネット・会場）を指摘する声も見られたことから、運営面での改善・工夫の余地がある。



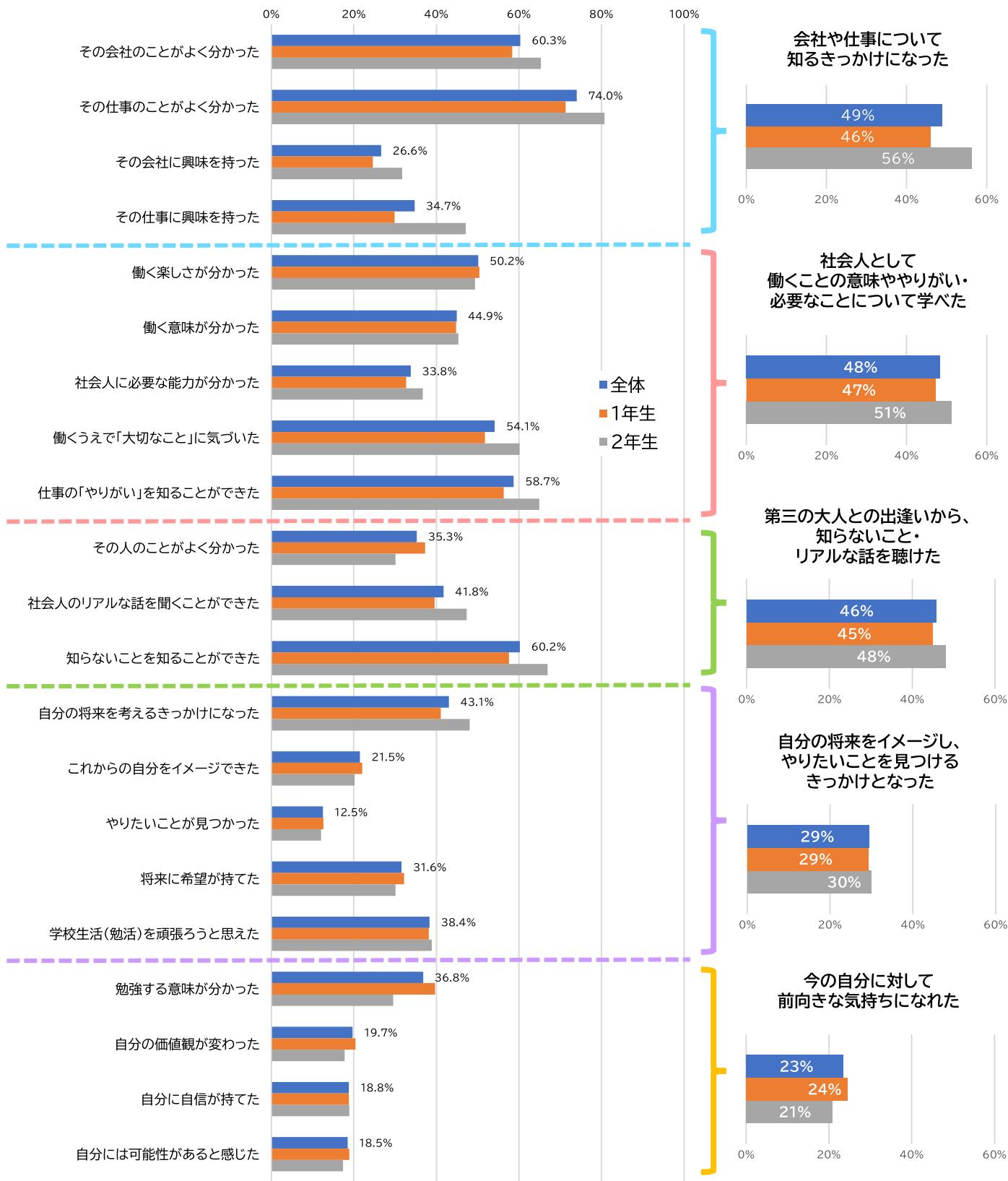
授業時間…スタンダード:50分程度 ショート:30分程度 ロング:90分程度

## 今回の職業講話で学べたこと・得られたことは何ですか？

(1,934名 選択式・複数回答)

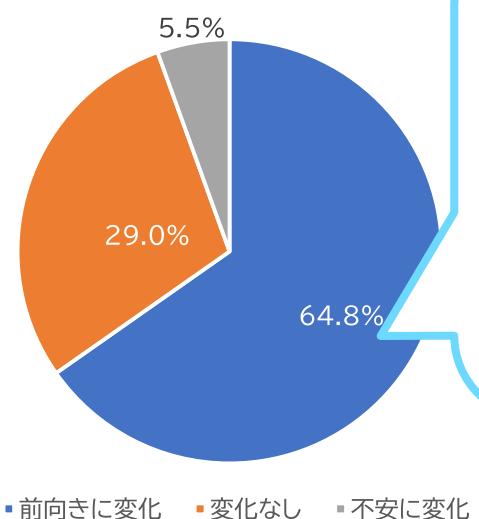
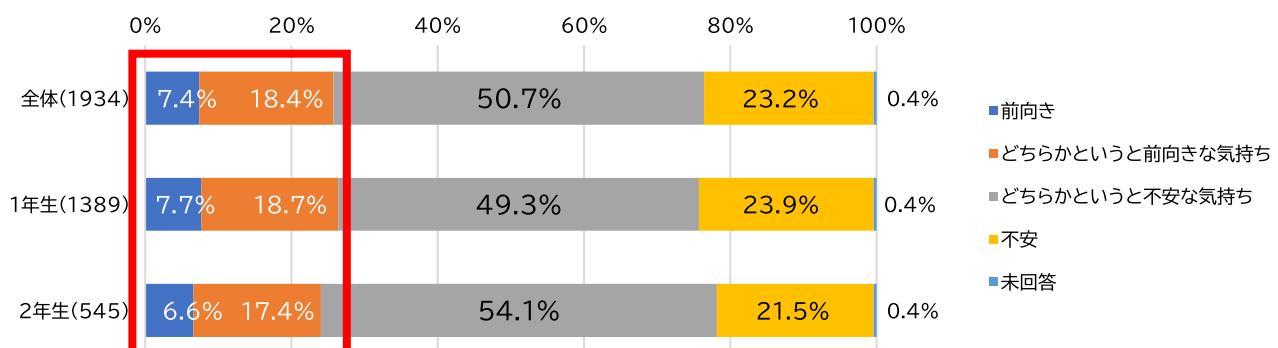
→全体として、「仕事」や「働くこと」に関する分野(仕事理解)でのポイントが高く、「将来」や「自分自身」に対する分野(自己理解)でのポイントが低い。今後プログラム内容に改善・工夫の余地がある。

学年での比較では、2年生が「仕事」や「働くこと」といった将来につながる分野(仕事理解)でのポイントが高いのに対し、1年生は現在の「自分自身」に関する分野(自己理解)のポイントが高い傾向が見られた。



職業講話を受講する前、「自分の将来」や「社会に出て働いていく」ということについて、どう感じていましたか？

→自分の将来を前向きに捉えている生徒は25%程度にとどまる。



#### 受講する前と受講した後の気持ちの変化…

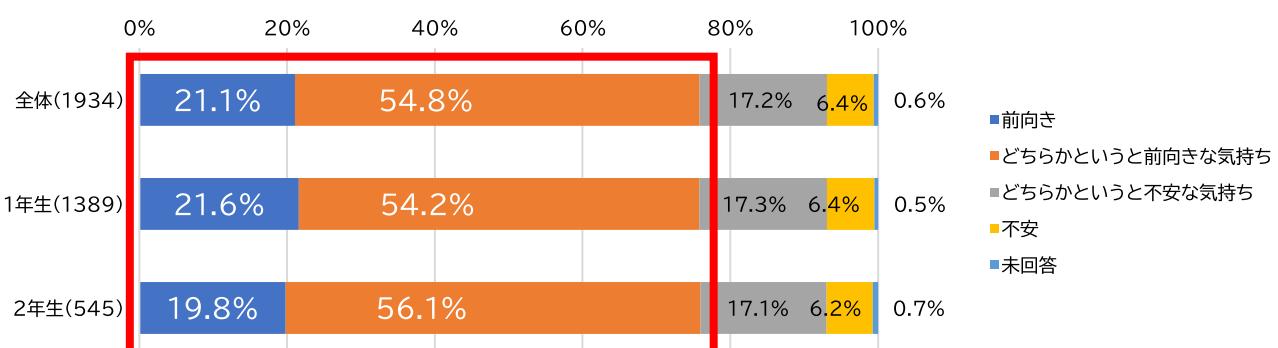
「自分の将来」や「社会に出て働いていく」ということについて、不安な気持ち→前向きな気持ちに変わったという生徒は約65%(1,253名)。

社会人(第三の大人)との出逢いが10代の若者の背中を後押ししています！



職業講話を受講した後、「自分の将来」や「社会に出て働いていく」ということについて、どう感じましたか？

→75%を超える生徒が、自分の将来に前向きな気持ちになった。



## 【受講前】不安/どちらかというと不安

### ★自分に自信が持てない…

社会についていくなんて無理だと思ったから。

「失敗したらどうしよう」という気持ちがある。

どこの会社も自分を必要としていないんじゃないかなと不安。

### ★環境や社会情勢…

AIの発達により自分のなりたい職業が将来存在しているのかが分からなから。

ニュースでは、ブラック企業の問題や仕事の裏側が多いから。

親の姿を見ている中で社会に出て働くことが容易ではないことは分かっていたので、それに対し不安がある。

### ★社会に出るのが怖い…

学校生活とは違うとても広く怖い社会だと思うから。

今は親や姉妹に支えられながら暮らしているが、実際に会社に行ってみたり、一人暮らしをすると大変だうな、と思ったから。

勉強が得意じゃないから、社会に出たら自分はやっていけるか心配だから。

### ★まだイメージが持てない…

まだやりたいことや将来のことも考えていなかったし社会に出て働くというのにイメージがないから。

自分にどんな才能があるかもまだわからないし、働いてる想像がつかないから。

### ★やりたいことがまだ分からない…

どここの高校に行きたいとか、どんな職業につきたいとかがなくて、将来どうすればいいのかわからず、焦っている。

まだ、どの職業が自分に向いているか分からない。

まだ明確な目標がなく、自分がきちんとした大人になれるのか不安。

### ★どうしたらしいか分からない…

何を軸にして働けばいいのか、どういうモチベーションで働けばいいのか、自分が社会に出て働いていけるのかなど不安なことがたくさんある。

どのような職業につけば楽しく仕事ができるのかが分からないから。

将来の夢はあるが、なれるかどうか不安だから。



## 【受講後】前向き/どちらかというと前向き

### ★自分に自信が持てた！

社会に出て働いていく上でどんなことが大切か、仕事のやりがいを教えてもらって自分に自信がついた気がする。

どんなことが楽しいか、ピンチなときはどうすればいいか、そんなことをたくさん話してくれたおかげで、不安が少なくなったから。

少し自分に自信がついて「いけるかも」と思いました。

### ★社会・大人のあたたかさを感じた！

どこの会社もちゃんと一人一人の良いところをちゃんと見てくれることに気が付きました。

〇〇さんのような人がいれば安心だと思ったし、働くことへの楽しさを何個も上げてくれたから。

皆さん誇りを持って働いていて、手を抜いたりしなければ嫌になるような大変なこともほとんど起きないと分かったから。

### ★将来に対するモヤモヤが晴れた！

話を聞くことで、自分が将来働くことについて少し明確になった気がするから。

社会人の方の、努力すればきっと叶うと聞いて少し前向きになれた。まだ希望はあると思えた。

### ★仕事の楽しさが分かった！

話を聞いて、どれも楽しそうな仕事ばかりでどの仕事を入っても前向きに頑張ろうと思った。

その仕事をして助かる人もいるし仕事のやりがいを知ったから、つらいこともあるけど楽しいこともあるのかなと思いました。

### ★チャレンジしてみようと思った！

講話で「はじめから無理だと言わない」というのを聞いて自分に響いたから。

話を聞いて夢をあきらめないでそれを叶えたい気持ちになった。

### ★「自分は大丈夫」と安心できた！

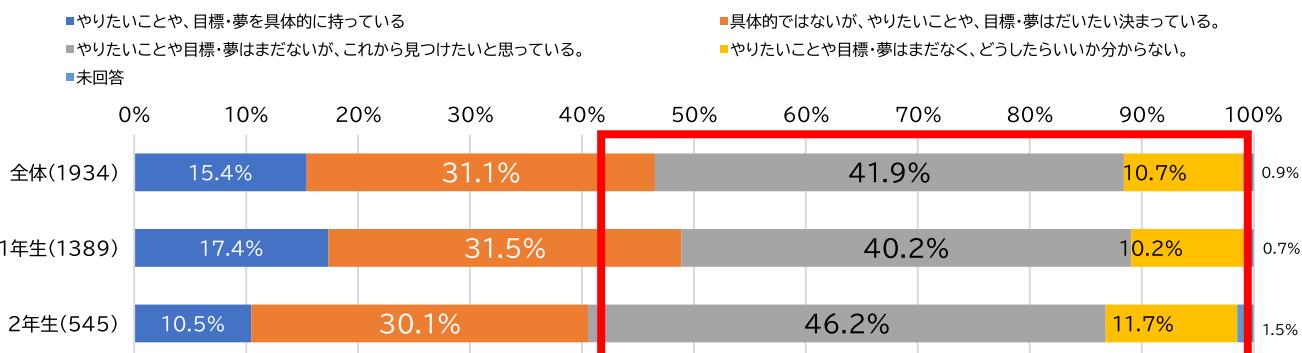
自分たちよりも長く生きて現在も働いている人でも苦労や挫折を経験していると知って皆苦労をしていることを改めて感じたから。

社会人たちも自分が中学生の時に特に夢がなかった。と言っていて自分だけじゃないんだなと思いました、焦らずじっくり考えようと思えたから。

いろんな前向きになれる言葉を教えてもらったりしたため。

## 今現在の「自分の将来」についての気持ちに一番近いものを教えて下さい。

→受講後、「自分のやりたいことに確信が持てた」という生徒も見られたが、生徒の約50%はまだ自分の将来について明確なイメージを持つところにまでは至っておらず、さらなる支援が必要。

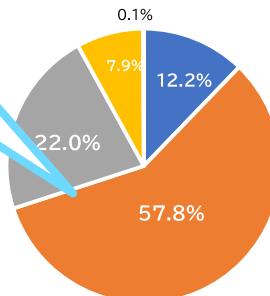


受講後に「やりたいことや、目標・夢はまだない」という生徒(1,016名)も…

**約70%(711名)が自分自身の将来について[前向きな気持ち]を持つことができています！**



Q. 職業講話を受講した後、「自分の将来」や「社会に出て働いていく」ということについてどう感じましたか？



- 前向き
- どちらかというと前向きな気持ち
- どちらかというと不安な気持ち
- 不安
- 未回答

## 今回のアンケート調査から得られたこと…

- ★職業講話は、今後のキャリアを考えるうえで必要な「仕事理解」・「自己理解」を深めるきっかけとなっている。「自己理解」については、事前・事後授業のワークを組み合わせることでさらに効果を高められる。
- ★社会人(第三の大人)との出逢いによりロールモデルができることで、若者たちの将来への不安が軽減され、「チャレンジしよう」という気持ちを起こさせたり、自己肯定感を育むことができる。
- ★現状「やりたいことや目標・夢がない」という若者も、職業講話に参加することでこれからの将来を悲観することなく前向きに捉えられるようになっている。

今後も活動を継続し一校でも多くの学校に「キャリア共育」の機会を届け、10代の若者の“生き抜く力”を育んでまいります！



 **NPO法人アスリード**

〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-40-23 Café&Factory DEN(リモートオフィス)  
TEL:045-325-8801 FAX:045-325-8802 mail:info@aslead.org

この報告書は、横浜市の「よこはま夢ファンド(市民活動推進基金)」の助成を活用し制作いたしました。  
制作協力(アスリードボランティアセンター):鬼澤高教・長谷川静音・堀田彩子・横溝知美・横手典子



よこはま夢ファンド  
の情報はこちら！